

第23回スルッとKANSAIバスまつりでバリアフリー教室を開催 近畿運輸局

協力：社会福祉法人ぽんがぽん、尼崎交通事業振興(株)

令和5年6月11日（日）神戸市西区にある神戸市交通局「西神車庫」において、バスまつり来場者（主に小学生の親子連れ）を対象にバリアフリー教室を開催しました。

バリアフリー教室では、バスのバリアフリーの工夫を聞いたり、本教室に協力いただいた障害当事者講師（車椅子利用者）の六條さんと尼崎交通事業振興株式会社によるバスの乗降実演、六條さんとの交流を行いました。また、視覚障害の擬似・介助体験も行い、お手伝いの必要性や障害への理解を深めました。

参加者からは、「困っている人がいたら優しい声をかけたい」「体験した子供と今日だけではなく話をしていきたい」など様々な感想が寄せられました！

令和5年6月11日（日）

〈第1回〉11:30~12:15

〈第2回〉14:10~14:55

【内容】

- 挨拶
- 心のバリアフリーについて
- ノンステップバスの説明
- 車椅子の乗降見学&六條さんお話
- 障害者等にも安心してバスを利用してもらうための取組の紹介
- 視覚障害疑似体験及び介助体験
- のりたろうとの記念撮影

心のバリアフリーについてのお話

困っている人を見かけたら声をかけよう！合い言葉は「お手伝いしましょうか」♪



車椅子でのバス乗降等見学

バス乗車→車椅子固定→降車の様子を見学。バスのバリアフリーの工夫等も学習。



視覚障害疑似体験・介助体験

アイマスクと白杖を使って、乗車→椅子に座る→降車ボタンを押す→降車を体験。



六條さんのお話

車椅子固定等は少し時間がかかるけれど、安心安全のために必要なことなので、見守ってね☆



令和5年7月20日（木）大阪府藤井寺市にある藤井寺工科高等学校（定時制）において、高校1年生14名の生徒を対象にバリアフリー教室を開催しました。

今回、本教室とは別に社会科の授業にて“心のバリアフリー”の学習を行うことから、体験学習に重きを置いて実施しました。

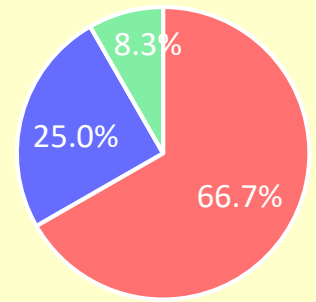
障害当事者講師（電動車椅子利用者）の堀さんより実体験に基づくアドバイスをいただきながら、2つの教室と廊下で、生徒全員が車椅子利用者と介助の体験、自走体験を行いました。

参加した生徒からは、「人の命を預かっている感じがした（介助する体験）」、「声かけがなかったら怖かった（介助される体験）」、「困っている人がいたら助けたい」など様々な感想をいただきました！

また、本教室には9名の先生にもご参加いただき、車椅子体験や体験補助をしていただきました。

参加した先生からは「生徒も教員も良い経験になった」「自ら車椅子体験することでハードルが低くなった」などの感想が寄せられました！

バリアフリー教室に参加して、すぐに「やってみよう!」と思ったこと

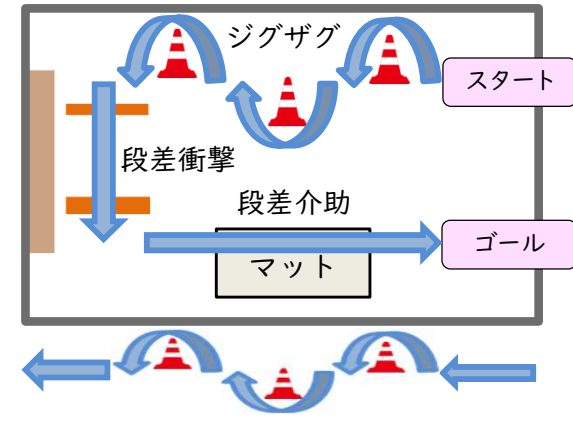


- 困っている人を見かけた時には「お手伝いしましょうか?」と声をかけたい
- 障害のある人の気持ちになって考えたい
- バリアフリー教室で学んだお手伝いの方法などを家族や友達に伝えたい

令和5年7月20日（木）18:40~19:25

- 挨拶（5分）
- 車椅子体験〈介助・自走〉（35分）
- まとめ（5分）

体験コース図



段差衝撃体験

歩道と車道の段差を模した高さ1cmと2cmの棒を越える体験。想像以上の衝撃の強さに驚き！



段差介助体験

マットで段差を表現。前から上がって後ろから下りる。みんなが一番苦戦した体験。



自走体験

車椅子の開閉体験も実施。狭い道でのジグザグ走行に挑戦。先生方も一緒に体験。



堀さんのお話

実体験に基づく貴重なアドバイスをたくさんいただきました。お手伝いの際は、声かけが大切☆



令和5年10月19日（木）甲賀市立甲南第三小学校において、小学3年生を主とする8名の児童を対象にバリアフリー教室を開催しました。

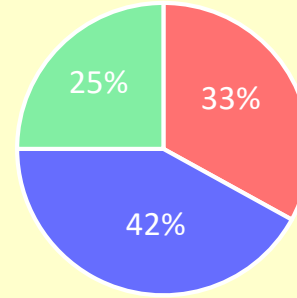
今回は、2人ずつのペアで4つの体験、①車椅子体験、高齢者疑似体験の②階段昇降・③お買い物体験、④バリアフリークイズを行い、児童全員が当事者と介助の体験をしました。

また、障害当事者講師（車椅子使用者）の前野さんにお越しいただき、車椅子体験でアドバイスをいただくとともに、バスケット用車椅子体験等を通して児童のみなさんとの交流にご協力いただきました。

参加した児童からは、「体が不自由な人は、怖いことがいっぱいあるんだと思った」「しょうがいがある人が、とてもたいへんなことに気づいた。こまっている人がいたら、声をかけようと思った」「おとしよりや妊婦さんは歩きづらいし、立っているのがたいへんなので、みかけたら、いすをゆずるなどをして、私ができることをしたい」など、多様な人への理解を深め、実際に行動しようとする前向きな感想が寄せられました。

また、参加した先生からは「教室でただ聞くだけの学習ではなく、実際に体験することができて、相手の気持ちを考えたり、接し方を学んだりすることができ良かった」などの感想が寄せられました！

バリアフリー教室に参加して、すぐに「やってみよう!」と思ったこと

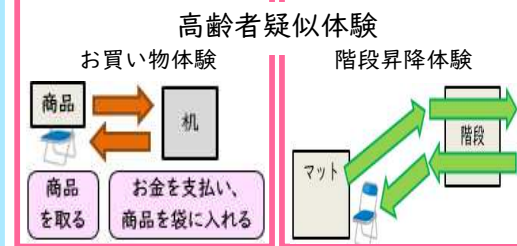
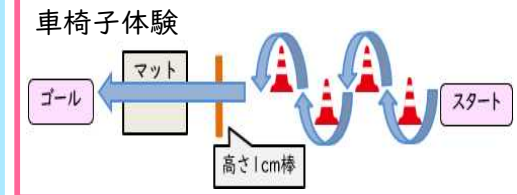


- 困っている人を見かけた時には「お手伝いしましょうか?」と声をかけたい
- 障がいのある人の気持ちになって考えたい
- バリアフリー教室で学んだお手伝いの方法などを家族や友達に伝えたい

令和5年10月19日（木）10:40~12:15

- 講義（15分）
- 体験 & 前野さんとの交流（75分）
- まとめ（5分）

体験概要図



車椅子体験

声かけが大切☆
少しの段差でも思った以上に衝撃が強い! 段差を上り下りするのは大変。



高齢者疑似体験（階段昇降）

目が見えづらく、足も曲がりにくいので、普段何気なく行っている歩いたり階段を昇降する等の動作も一苦労。



高齢者疑似体験（お買い物）

目が見えづらく、肘や指先が思うように動かないので、物を取ったり袋を開けるのにも苦戦。声も聞こえづらい。



前野さんとの交流

前野さんが持ってきてくださったバスケット用車椅子をみんなで体験♪
お話やアドバイスもいただきました!



令和5年11月30日（木）姫路市立中寺小学校において、小学4年生55名（2クラス）を対象にバリアフリー教室を開催しました。

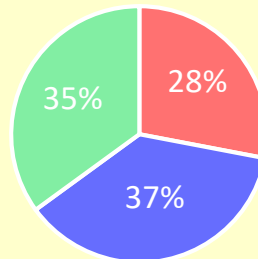
今回は、神姫バス株式会社様が水素バス（ノンステップバス）を学校に持ってきてくださり、車椅子でバスの乗降体験をしたり、バスのバリアフリーの工夫を学び、体育館内では車椅子体験と視覚障害疑似体験も行いました。

講義や体験を通して、障害への理解を深めるとともに、手助けする際の声かけやコミュニケーションの大切を学びました。

参加した児童からは「車いすに乗って1cmのだんさをこえるだけでもかなりしょうげきを感じた」「やさしい声かけが大事だなと思った」「体が不自由な人がどれだけたいへんか分かったのでこまっていたら声をかけて助けてほしい」「自分たちにできることはやりたい」等、様々な感想が寄せられました。



バリアフリー教室に参加して、すぐに「やってみよう!」と思ったこと



- 困っている人を見かけた時には「お手伝いしましょうか?」と声をかけたい
- 障がいのある人の気持ちになって考えたい
- バリアフリー教室で学んだお手伝いの方法などを家族や友達に伝えたい

令和5年11月30日（木）10:35～12:20

スケジュール

時間	1組		2組	
	内容			
10:35 (15分)	講義			
10:50 (20分)	車椅子・視覚体験説明&実演			
11:10 (65分) 体験	車椅子	視覚	バス	
	視覚	車椅子		
12:15 (5分)	バス		車椅子	視覚
			視覚	車椅子
12:20	まとめ			
12:20	終了			

車椅子体験

声かけ・コミュニケーションが大切☆
車椅子に乗っていると、普段は気にも留めていない小さな段差でも衝撃を感じ、越えるのも大変なことを痛感。



高さ4cmの棒(段差)越えに挑戦!

視覚障害疑似体験

目が見えない状態で歩くのは不安。
手引きをするときは、みんな一生懸命、声で案内してくれました!
声かけの大切さを実感!



お手伝い
しましょうか?

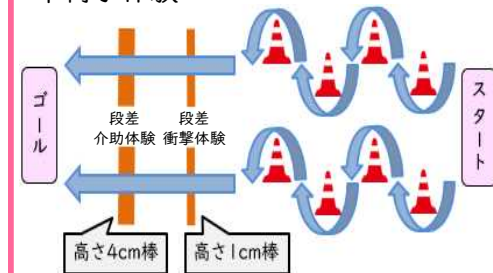
バス乗降体験

バスに格納されているスロープを使い、
車椅子でのバス乗降をみんなで体験。
神姫バスさんからバスのバリアフリーの工夫も教えてもらいました!

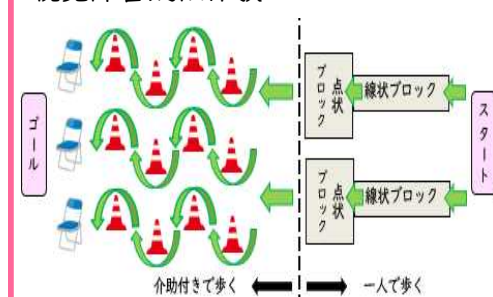


車椅子でバスの
乗降に挑戦!

車椅子体験



視覚障害疑似体験





令和6年2月20日（火）大和郡山市立矢田小学校において、小学3年生39名と4年生37名の2学年合同76名の児童を対象にバリアフリー教室を開催しました。

今回は、2人ずつのペアで、アイマスクと白杖を使用した視覚障害疑似体験と介助体験を行いました。また、視覚障害当事者の辰巳さんを囲んで、質問をしたり、視覚障害体験用眼鏡（全盲、視野狭窄、白濁、黄白濁）を使って見え方の違いを体験しました。

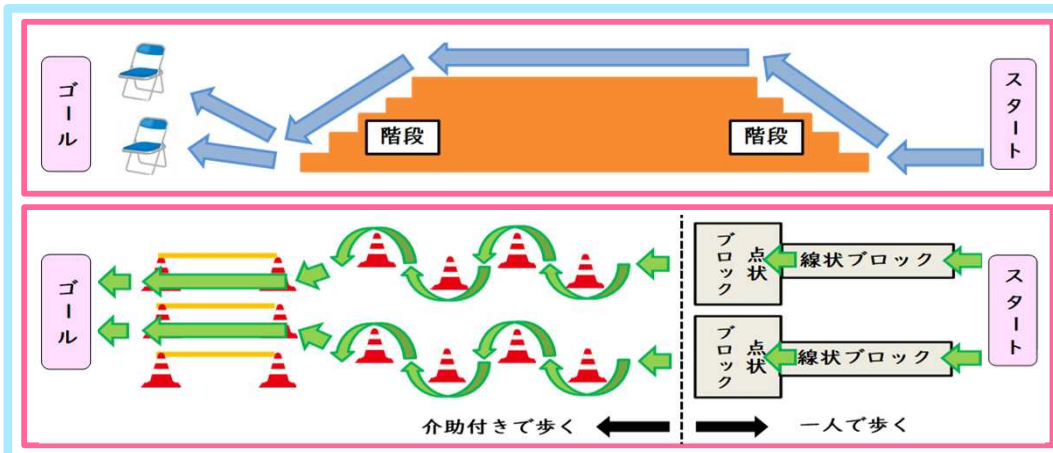
参加した児童からは、『「すべて見えなかったり、視界が白くにごっていたりする」といった、目の不自由さのてい度にもいろいろあると言う事がわかりました』『たつみさんの話を聞いて、視覚しょうがい者の方の気持ちがよく知れてよかった』『こまっている人を見かけたら声をかけようと思いました』など、障害への理解を深め、行動を起こそうという前向きな感想が寄せられました！

また、参加した先生からは『当事者の方のリアルな声を聞かせていただけるのは大変ありがたい』『視覚障がいでだけではなく、様々な場面で困っている人に向けてアンテナを張る機会になった』等の感想がありました！

令和6年2月20日（火）13:45～15:20

- 講義（10分）
- 視覚障害疑似体験 & 辰巳さんとの交流（80分）
- まとめ（5分）

視覚障害疑似体験コース図



視覚障害疑似体験（一人歩行）

アイマスクをして白杖を持ち、点字ブロックの上を一人で歩いてみると、点字ブロックは大切な道しるべだと実感！



視覚障害疑似体験（階段昇降）

目の見えない状態で階段を上ったり下りたりするのは不安。階段を手引きするのは難しいけれど、精一杯声で案内☆

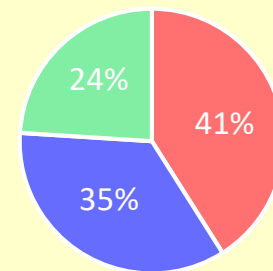


辰巳さんとの交流

辰巳さんからのお話の後、辰巳さんへの質問タイムへ。ドンドン質問が出てきて、活発な交流の場となりました☆



バリアフリー教室に参加して、すぐに「やってみよう!」と思ったこと



- 困っている人を見かけた時には「お手伝いしましょうか?」と声をかけたい
- 障害のある人の気持ちになって考えたい
- バリアフリー教室で学んだお手伝いの方法などを家族や友達に伝えたい